

7月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆7月8日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆7月17日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆7月18日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



知ってる?

男女共同参画のキーワード

女性の政治参画への障壁などに関する調査研究

内閣府男女共同参画局が、令和2年度に「ハラスメントを含む女性の政治参画への障壁についての調査」を実施した。

立候補をしたが断念した者に対するアンケート調査結果については、右表のとおりである。上位3項目をみると、1位は、「立候補にかかる資金の不足」。2位は、「仕事や家庭生活のため、選挙運動をその準備にかけられる時間がない」。3位は、「知名度がない」となった。

また、上位10項目についてみると、「自分の力量に自信が持てない」「当選した場合、家庭生活との両立が難しい」などで、男女の間ではこの差が大きくなっており、これらが女性にとって障壁になっていることが分かる。

そして、立候補を検討している時またはその準備中に、有権者や支援者、議員などからいざれかのハラスメントを受けたと回答した人は、女性で65.5%となった。ハラスメントの内容については、「性別に基づく侮辱的な態度や発言」、「SNS、メールなどによる中傷、嫌がらせ」、「年齢、婚姻状況、出産や育児などプライベートな事柄についての批判や中傷」となっている。

女性のための就労支援講座

◆7月23日(金) 10:30~12:00
 「働くうえでの人間関係のつくり方」
 講師: 岡田 恵子(キャリアコンサルタント)
 参画センター就労相談員



場所: 参画センター学習研修室 3
 参加費: 無料 定員: 15人
 託児: あり(7月16日までに要予約)

予告

さんかく交流サロン

◆8月12日(木) 13:30~15:00
 「夏を涼しく過ごす工夫を考えよう!」
 講師: センター職員
 場所: 参画センター学習研修室 1・2
 参加費: 無料 定員: 15人
 申込み: 男女共同参画センターまで
 ☎ 087-833-2282



これらに対する有効な取組として、「選挙管理事務局、政党、議会事務局などでの相談窓口の設置」、「有権者、支援者、議員への啓発や研修」、「監視機関の設置」が必要との回答があった。

表1 立候補を断念した理由
 (「大いにあてはまる」及び「ややあてはまる」の合計、女性の上位10項目)

順位	項目	女性	男性
1	立候補にかかる資金の不足	68.0%	63.6% (1位)
2	仕事や家庭生活(家事・育児・介護等)のため、選挙運動とその準備にかけられる時間がない	61.7%	62.4% (2位)
3	知名度がない	60.9%	62.4% (2位)
4	当選の見込みが低く感じられた	56.3%	56.6% (4位)
5	家族の理解やサポートが得られない	49.6%	51.2% (5位)
5	選挙運動とその準備の方法が分からない	49.6%	42.2% (9位)
7	自分の力量に自信が持てない	48.0%	38.4% (11位)
8	当選した場合、家庭生活との両立が難しい	47.8%	38.8% (10位)
9	当選した場合、仕事をやめなければならない	47.2%	44.2% (7位)
10	政党や団体のポスティング支援、金銭的助成等の支援が得られない	45.3%	46.2% (6位)

※全17項目についてそれぞれの程度あてはまるかを選択。
 ※男女間で7.0ポイント以上の差があるものに不等号を記載。

(資料: 内閣府『共同参画』)

6月の行事から

男女共同参画センターはコロナ感染拡大防止のために、5月4日(火)から6月1日(火)まで全面休館。6月2日(水)から6月20日(日)までは土日のみ休館になりました。そのため、利用者の方々には、大変ご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

4-25

就職・地域活動支援パソコン講座

参加者: 延べ27人 場所: e-とびあかがわ
 今回は、イベントチラシの作成と領収書の印刷。中級程度の講座ですが、皆さん熱心に学びました。(参加者の感想)「テキストも分かりやすく、説明もわかりやすく良かったです」「大変勉強になりました。参加できて良かったです」等。



6/17

さんかく交流サロン リサイクルアート 新聞紙でちぎり絵をつくろう!

参加者: 7人 場所: 学習研修室 1・2
 新聞の色部分を利用して、硬い紙に糊で張り付けていきます。初めての方がほとんどでしたが、作品を仕上げようという意気込みを感じました。(参加者の感想)「新聞を使ったちぎり絵、とても楽しかったです。絶対完成させます」「色の選択が難しいけど、認知予防になりますね」等



6/18

女性のための就労支援講座

働く人、働きたい人のメンタルヘルス対策

参加者: 9人 場所: 学習研修室 1・2
 メンタルヘルス不調に気づき、対応していくことは大切。予防のポイントは3つ。①ストレスへの気づきをよくする②メンタルヘルスの理解をすすめる③相談する、です。(参加者の声)「講師が色々な事例を挙げお話してくれたので、前向きな気持ちになれた」等。



6/24

第2回転勤者とさぬき人のはじめまして講座 田町商店街から栗林公園へ周辺を散策しよう!

参加者: 22人 場所: 瓦町駅集合
 今変わりつつあるトキワ街から田町、藤塚商店街のお土産店に寄りながら栗林公園へ。久しぶりの商店街めぐりを懐かしんでいました。(参加者の感想)「毎日家の中にいたけど、公園ウォークで元気が出ました」「蓮や睡蓮の花が咲き乱れて見晴らしも良く、すごく素敵でした」等



トピックス

市民フェスティバル実行委員募集!

「高松市男女共同参画市民フェスティバル」の実行委員をしてみませんか?

高松市男女共同参画市民フェスティバルは、昭和49年に「第1回婦人のつどい」として始まり、平成元年には、名称を「たかまつ女性のつどい」に変更しました。そして、平成9年に「高松市男女共同参画市民フェスティバル」という現在の名称になり、今年が48回目。

市民フェスティバルでは、講演会、映画会、ワークショップ、パネル展に分かれて、参画センターの登録団体や市民団体がそれぞれの活動テーマに沿ったものを企画・運営することで力をつけていきます。

ここ2年は、コロナ感染拡大のために、上映会やオンラインでの講演会など、今までとは違い、ITを活用したのになってきました。新しい試みなども大歓迎です。我こそはと思う方は、ぜひ実行委員になって、フェスティバルにご協力いただければと思います。



↑今までの市民フェスティバルから

★お申込み・お問合せは、高松市男女共同参画センターにお電話ください。お待ちしております。

TEL 087-833-2282